

**「東日本大震災の復旧・復興支援のための技術講習会・技術相談会」を開催
－被災した農業農村の復旧・復興のための技術相談を実施します－**

ポイント

- ・専門の研究者が被災した農業・農村の復旧・復興に従事する現場の技術者・農業者を支援するための技術講習会・技術相談会を、12月6日に、いわて県民情報交流センターで開催します。
- ・早期の復旧・復興に向けて活用可能と考えられる研究成果を紹介します。

概要

農研機構 農村工学研究所と東北農業研究センターでは、現場の第一線で被災地の復旧・復興に従事される農業関係の技術者、農業者を直接支援するため、下記の技術講習会及び技術相談会を開催いたします。

技術講習会では、復旧・復興の現場で役立つ研究成果を紹介します。また技術相談会では、現場の皆さんからの疑問に直接、専門の研究者が答えます。多くの農業関係者の方々のお越しをお待ちしています。

記

- ・日時：平成23年12月6日(火) 13:00～16:00
- ・場所：いわて県民情報交流センター(アイーナ) 会議室804号室
(岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7番1号)
- ・プログラム：別紙のとおり
- ・定員：300名（先着順、事前申込み必要。当日は空席がある場合のみ受付）
- ・参加費：無料
- ・申込み方法：農村工学研究所ホームページ
(<http://nkk.naro.affrc.go.jp/ivent/H23/231206iwate/index.html>)
より申込書をダウンロードして、e-mail(iten@ml.affrc.go.jp)又は
FAX(029-838-7680)にて11月30日(水)までにお送り下さい。

問い合わせ先

農研機構 農村工学研究所 技術移転センター移転推進室 丸茂（まるも）

Tel：029-838-7605 FAX：029-838-7680

e-mail:iten@ml.affrc.go.jp

本資料は東北6県県政記者会、筑波研究学園都市記者会、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブに配付しています。

別紙

東日本大震災の復旧・復興支援のための技術講習会・技術相談会 開催要領

1. 開催日時：平成 23 年 12 月 6 日(火) 13:00～16:00
2. 開催場所：いわて県民情報交流センター(アイーナ) 会議室 804 号
岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目 7 番 1 号
3. 主催・共催・後援
主催：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所
共催：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター
後援：農林水産省東北農政局、岩手県
4. 内容
被災地の復旧・復興に従事する農業関係技術者、農業者へ、活用可能と考えられる研究成果の紹介をポスターセッション形式で行います。また、並行して農業関係技術者、農業者から技術相談について研究者が直接回答します。
5. プログラム
 - (1) 13:00～13:05 主催者挨拶
 - (2) 13:05～13:30 基調報告「東日本大震災にあたって農研機構の取り組み」
(農村工学研究所 鈴木防災研究調整役)
 - (3) 13:30～13:50 ポスターセッションインデクシング
ポスターセッションで紹介する震災復旧・復興技術について担当研究者から 1 分間で説明
 - (4) 14:00～15:50 ポスターセッションによる技術講習会及び技術相談会
震災復旧・復興技術についてポスターセッション形式で説明。あわせて震災復旧・復興に関する現場での技術的課題についての研究者が技術相談を受け付けます。
 - (5) 15:50～16:00 閉会
6. ポスターセッション内容(予定)
 - 【農村工学研究所】
 - ・ 防潮堤の整備が生活環境にどのように影響するかを検討する手法
 - ・ 農家・地域住民による水路の簡易診断・補修マニュアル
 - ・ 過去の地震における水路被災要因と損傷の関係
 - ・ 地下水位制御システム FOEAS
 - ・ 地震に強いパイプラインの浅埋設工法
 - ・ 被災した水田の再編整備時等における低コストな整地・均平
 - ・ 水熱源ヒートポンプによる温室の冷暖房技術
 - ・ 緩勾配水路における流水エネルギーの電力変換技術
 - その他
 - 【東北農業研究センター】
 - ・ 海水進入農地の土壌電気伝導度測定における EC センサーの利用
 - ・ 圃場の連担化(合筆)による生育ムラの軽減技術
 - ・ 大区画水田に対応したプラウ耕-鎮圧体系の水稻乾田直播
 - ・ 四季成り性品種を利用した夏秋どりイチゴの栽培技術
 - ・ 低段密植養液栽培によるクッキングトマトの栽培技術
 - 【岩手県農業研究センター】
 - ・ 南部園芸研究室で開発した被災農地で活用できる技術シーズ
 - ・ 沿岸農業復興のための技術支援、復興モデル実証
 - 1) 復旧のための農業改良普及センター、JA 等への技術支援
 - 2) 復興のための技術開発と実証
 - 3) 被災農地のモニタリング調査と除塩対策